

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼市立浦島小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒988-0816

宮城県気仙沼市二ノ浜83-2

E-mail : ura-s5@coda.ocn.ne.jp

Website : http://www.k-macs.ne.jp/~ura-s5

児童生徒数：男子 6 名 女子 6 名 合計 12 名

児童・生徒の年齢 8歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

地球規模の問題に対する国連システムの理解

持続発展教育 (ESD) ( 国際理解)  世界遺産  平和・人権  環境  気候変動  
 生物多様性  エネルギー  防災  食育  伝統文化  そのほか (地域理解)

そのほか ( )

#### 4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

##### ◎実践1：津波避難訓練【地域理解・防災】

- ・対象学年：全学年
- ・中心教科・領域：特別活動（学校行事）
- ・関連教科・領域：総合的な学習の時間，特別活動（学級活動），生活科
- ・概要

避難訓練を通して，地域内の津波避難場所について知るとともに，今回の震災での津波到達点を知り，自分の命を守るためにできることを考えさせた。避難場所及び津波到達点を一つ一つ確認したことで，児童の津波避難に対する意識は高まったと思われる。

##### ◎実践2：英語活動【国際理解・コミュニケーション能力】

- ・対象学年：2・3年  
（\*計画は4年生以下だが，今年度は4年生以下の在籍が2・3年生（3名）のため）
- ・中心教科・領域：創意
- ・関連教科・領域：国語，音楽，道徳
- ・概要

ALTとの活動を通して，他国の言語や文化について体験的に理解するとともに，外国語の音声や基本的な表現を用いて「相手の思いを理解しようとする」，「自分の思いを進んで伝えようとする」など，積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成に努めてきた。児童は，チャンツや歌，様々なゲームを通して体験的に理解できることを喜び，進んで学習に取り組んでいた。

##### ◎実践3：百人一首に親しむ会

- ・対象学年：全学年
- ・中心教科・領域：総合的な学習の時間，生活科
- ・関連教科・領域：国語，社会，道徳
- ・概要

百人一首のかるた取りを通して，和歌に親しみながら日本の伝統的な遊びに親しみ，日本の文化や伝統を大切にしようとする児童の育成を図ってきた。和歌が文化として確立された契機など，歴史との関連を図りながら進めることができた。家庭でも練習に取り組むなど，日本の文化・伝統に進んで取り組もうとする意欲の喚起にもつながっている。

##### ◎実践4：パレスチナの話聞く会【国際理解】

- ・対象学年：5・6年
- ・中心教科・領域：社会
- ・関連教科・領域：道徳，外国語活動
- ・概要

NPOとしてパレスチナで活動している方から講話をいただいた。パレスチナとイスラエルの関係，パレスチナの子どもたちの様子などについて詳しくお話をいただいた。現在も世界では紛争が続いていることを知り，その解決に何が必要かを自分なりに考え，発表するとともに，日本で生活できることのありがたさを子どもたちは感じていた。



以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ  
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
  
  
- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
  
  
  
  
- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)
  
  
  
  
- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な 10 年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の 10 年など)